

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択）

事後評価結果（公表用）

番号	研究名	研究代表者	評価
24-8	疲労き裂の補修技術に関する研究開発	名古屋大学 教授 館石 和雄	B
<p>&lt;研究の概要&gt; ※成果報告レポートより引用</p> <p>疲労き裂が生じた鋼橋部材に対して、簡易にかつ即時性をもって補修するための技術開発を行った。具体的には、ICR処理、樹脂注入法、溶接補修の3つの技術を取り上げ、それぞれの効果と適用限界を定量的に明らかにするとともに、実施工技術を開発した。</p> <p>&lt;事後評価結果&gt;</p> <p>提案された3手法のうち2手法（ICR処理、溶接補修工法）については、適用範囲は限定されるものの応急的な対策としての有用性を技術的に確認できたことの意義は大きい。研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。</p> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>補修方法の選定にはさまざまな因子を考慮すべきであり、提案された「ICR」と「溶接補修」に限っても、損傷箇所や損傷の進展性を考慮した補修方法の選定が必要と考えられる。</li> <li>今後は、恒久的な対策も含め、各種対策工法をどのように組み合わせるかを鋼橋のマネジメントに展開していくのかについて検討して頂きたい。</li> </ol>			

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第27回新道路技術会議において審議したものである。